

<牧会ミニ通信>No.4 2020・5・10

つれづれなるままに……。悪性コロナ・コロナで日々明け暮れていますが、周東のぞみのみなさまは如何お過ごしでしょうか。

役員会が礼拝の自制を決意して、はや1か月が経過。万難を排して礼拝を守ってきましたが、礼拝がないとなれば何とも変な気分です。近頃は、朝目覚めると、何曜日であるかが分からなく、いちいち確認して1日をはじめの始末です。……でも、春が訪れています。かわずが鳴きはじめました。ツバメのヒナが「ピー・ピー」と鳴いています。周東市内を取り囲む山の肌が、さまざまな色合いとなりました。

*つい数か月前まで、暮らしに何の支障もなかったのです。それが、今やそれどころではありません。「神は彼らのうめきを聞き、……、人々を顧み、神は彼らをしろしめされた」(出2:23-25)とありますが、コロナ菌の蔓延により、全世界70億の民族・種族は危機に直面して、天を仰ぎ、祈るように、いえ、祈らざるをえなくなりました。

*アメリカの教会に、「7:14の祈り」があるといます。

歴代誌下7章14節「わたしの名を呼び求めているわたしの民が、もしみずからへりくだり、祈って、わたしの顔を求め、その悪い道(神はいないと考える)を離れるならば、わたしは天から聞いて、その罪をゆるし、その地をいやす」一、ここから、「朝と夕の7時14分」を覚えて祈るのだそうです。周東のぞみキリスト教会のみなさんが、朝と夕、7時14分を覚えて祈るとすれば、何とすばらしいことでしょう。祈りの長い短いかは問いません。5分、いえ、3分でも十分です。

「最後に言う。主にあって、その偉大な力によって、強くなりなさい。悪魔の策略に対抗して立ちうるために、神の武具で身を固めなさい。わたしたちの戦いは、血肉に対するものではなく、もろもろの支配と、権威と、やみの世の主権者、また天上にいる悪の霊に対する戦いである。

それだから、悪しき日にあたって、よく抵抗し、完全に勝ち抜いて、堅く立ちうるために、神の武具を身につけなさい、……すべての祈りと願いを用いて、どんな時でも御霊によって祈りなさい。そのためには絶えず目をさまして、すべての聖徒のために祈りつづけなさい」。牧師：結城 晋次